

もくじ

はじめに i

I 歴史的背景

1 欧米のアーカイブズとアーカイバル・サイエンスの形成：

第二次世界大戦まで 7

1.1 古代から近代のアーカイブズ 7

1.1.1 古代から近世のアーカイブズ 7

1.1.2 近代欧米のアーカイブズ 9

1.2 アーカイバル・サイエンスの形成：17世紀～第二次世界大戦 11

1.2.1 その前史：17～19世紀 11

1.2.2 アーカイバル・サイエンスの誕生：19世紀末～第二次世界大戦 14

2 明治初年から第二次世界大戦までの日本におけるアーカイブズの紹介 16

2.1 アーカイブズとの出会い 16

2.1.1 『米欧回覧実記』における博物館・図書館・「アルチーフ」 16

2.1.2 内閣記録局における「記録」と「図書」 19

2.1.3 官学アカデミズムの歴史学形成期におけるアーカイブズ認識 26

2.1.4 図書館における郷土資料保存 39

2.1.5 1920年代から30年代初頭におけるアーカイブズの紹介 43

2.2 古文書学の形成とアーカイブズ 49

3 現代のアーカイブズ 54

3.1 現代のアーカイブズ 54

3.2 第二次世界大戦後のアーカイブズの拡充 54

3.3 日本におけるアーカイブズの設置 56

3.3.1 アーカイブズ散逸の危機と文部省史料館の設置 56

3.3.2 国立国会図書館憲政資料室の設置 60

3.3.3 1950年代のアーカイブズ設置キャンペーン 62

3.3.4 山口県文書館の設置 64

3.3.5	アーカイブズ設置の意義	69
3.3.6	1950～70年代のアーカイブズの紹介	71
3.3.7	1960年代のアーカイブズの設置と内在する課題	78
3.3.8	1970年代以降のアーカイブズの設置	80
4	第二次世界人戦後から1990年代半ばまでのアーカイバル・サイエンス	83
4.1	欧米における進展	83
4.2	日本における史料学の形成とアーカイバル・サイエンスの萌芽： 第二次世界人戦後～1970年代	85
4.2.1	史料学の形成(1)：第二次世界人戦後～1960年代	85
4.2.2	史料学の形成(2)：1970年代	94
4.2.3	アーカイバル・サイエンスの萌芽	97
4.3	1980年代以降日本におけるアーカイバル・サイエンスの積極的撮取と その形成	101
4.3.1	国文学研究資料館史料館の活動	101
4.3.2	記録管理論の紹介	102
4.3.3	ユネスコのアーキビスト養成科目と 国文学研究資料館史料館史料管理学研修会	103
4.3.4	アーカイバル・サイエンスの形成	105
4.3.5	アーカイバル・サイエンス各分野の状況	108
5	世界の最新動向とアーカイバル・サイエンス構築の課題	113
5.1	第二次世界人戦後のアーカイブズの四潮流	113
5.2	オーラル・ヒストリー	116
5.3	ドキュメンテーション戦略	117
5.4	アーカイブズ編成・記述と検索手段の国際的標準	119
5.5	電子記録の保存の問題	122

II 今日の課題

6	記録を守り記憶を伝える ―日本からの報告―	127
6.1	はじめに	127
6.2	日本におけるアーカイブズとアーカイバル・サイエンスの形成： そのバックグラウンド	128
6.2.1	古文書学の形成と「古文書館」：1890年代から第二次世界人戦まで	128
6.2.2	アーカイブズの設置と史料学およびアーカイバル・サイエンスの形成： 第二次世界人戦後から1990年代まで	130
6.3	記録の保存と「記憶の暗殺者たち」： 主に1990年代以降取り上げられているアーカイブズ保存問題	136
6.3.1	記録の保存	136
6.3.2	「記憶の暗殺者たち」	138
6.4	記録を守り、記憶を伝えるために：アーキビストの養成について	141
6.4.1	アーカイバル・サイエンスの構築	141
6.4.2	アーキビストの養成	142
6.4.3	記録を守り、記憶を伝えるためのネットワーク	142
7	コンピュータ社会における集合的記憶	145
7.1	はじめに	145
7.2	コンピュータ社会への揺りかご	147
7.3	コミュニケーションと情報	151
7.4	情報と記録	155
7.5	集合的記憶	165
7.6	むすびにかえて	172

参照文献目録 175